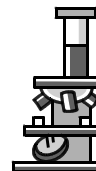


(理)科の家庭学習方法

(1) まとめをする

その日学習したことがらを自主学習ノートにまとめます。教科書や理科ノート、自分で買った参考書・問題集で、解説などを見ながら要点を書き出すというやりかたでかまいません。

実験の注意点や実験結果も大切ですから、実験や観察を思い出しながらノートに書き出します。図や表、グラフも必要に応じて上手に活用しましょう。



(2) 問題を解く

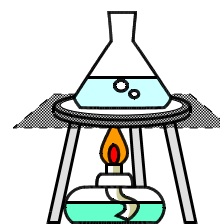
単元の終わりには探求の理科を解いておきましょう。探求の理科はいつも定期テストの後で提出します

問題集を自主学習ノートに解いてもかまいませんが、色々なものに手をつけると、どれも中途半端になってしまいますので、一冊をきちんと仕上げるようにしましょう。

(3) 重要語句をおぼえる

最低限、教科書に太字で書かれた重要語句については、その意味まできちんと覚えます。楽をして覚える方法はないので、ひたすら書いて覚えましょう。

一回目は語句とその意味、二回目以降は語句だけでもかまいません、漢字の間違いにも注意して繰り返し書きましょう。



(4) その他に

理科は自然の事物や現象、またはその仕組みについて考える教科なので、頭の中に自然や自然現象の正しい姿が入っていれば、理科の課題や問題について正しく考えることができます。

学校の授業を通じて頭の中にその自然のイメージを築き上げていきますが、中学校で扱われる内容の多くは身の回りにあるものです。普段の生活の中で身の回りの事物をしっかり見ていることが、自然というものを正しくとらえることにつながっていきます。家庭生活においても部活動においても、「これは何だろう。」「なぜかな。」「どうしたらいいかな。」という気持ちを持ち、身の回りの事物や現象をしっかり見極める態度が、理科の力を大きく伸ばすことにつながります。